

令和５年度 教育指導の重点及び学校経営計画（高等学校版マニフェスト）

学校教育目標	生徒一人一人を大切にした信頼と愛情に基づき、常にはほえみと感動のある教育を目指し、日々の教育実践の中で、次の教育目標の達成に努める。 （１）基礎学力の定着を図るとともに、創造的思考力を育成する。 （２）体力・気力を養い、「不撓不屈」（校訓）の精神を育成する。 （３）礼儀を重んじ、社会秩序を守り、正しい行動ができる能力と態度を育成する。 （４）個性をのばし、正しい職業観を身に付け、すすんで自己実現を図る態度を育成する。 （５）郷土や祖先を敬愛し、人間を尊重する精神を育成する。 （６）連携型中高一貫教育を推し進めるなかで、中学校とのさまざまな交流を通して「学力の向上」と「豊かな心の育成」を図る。		
スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』グラデュエーション・ポリシー（ＧＰ）	『生徒をどう育てるか』カリキュラム・ポリシー（ＣＰ）	『どんな生徒を待っているか』アドミッション・ポリシー（ＡＰ）
	「不撓不屈の精神で未来を切り拓く社会人」 ・自分のよさや可能性を知り、生涯を通して自らを高め続ける生徒 ・他者を尊重し、多様な人々と協働できる生徒 ・持続可能な社会の創り手となれる課題解決能力をもった生徒	・基礎学力を確実に育む授業の推進 ・自己実現への目標をもち、主体的に学べる学習環境の整備 ・自他の考えを認め合う姿勢を身に付け、新たな価値を生む力を育成するため、協働的な学習活動の工夫 ・ソーシャルスキル、課題解決能力、進路目標を実現する力を養うため、郡上市を学びの場とした探究的な学びや実社会に即した学びの推進	・自ら学び、自ら考え、主体的に行動しようとする生徒 ・多様な考えを取り入れものの見方や考え方を広げようとする生徒 ・地域活動に参加して、学んだことを実社会で活かそうとする生徒
＜教育指導の重点＞ 今年度の具体的な重点目標		重点目標の達成に必要な具体的取組、方策	達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
１）確かな学力をつけます ～基礎学力の定着を図るとともに、生涯にわたって探究を深めることができる学力を育成します～		①少人数授業、習熟度授業を積極的に実施し、生徒一人ひとりに指導が行き届く授業を実施します。 ②「自学自習ノート」、「進路実現ノート」の取り組みを推進し、家庭学習習慣の確立と基礎学力の定着を図ります。 ③家庭や地域に連携及び協働を求め、学んだことの意義を実感できる教育活動を行います。 ④生徒の授業評価、及び教員相互による授業見学を年２回実施し、教員の授業改善及び授業力向上を図ります。 ⑤一人一台タブレットを活用し、主体的で深い学びにつながる授業を実施します。	① 授業評価アンケート「授業の内容が理解できている」の項目で「５」または「４」と回答する生徒９０％以上 ② 授業評価アンケートで「授業の内容に、興味・関心がもてる」の項目で「５」または「４」と回答する生徒９０％以上 ③ 授業評価アンケートで「先生の授業はわかりやすい」、の項目で「５」または「４」と回答する生徒９０％以上 ④ ICTに係るアンケートで「興味・関心」、「理解の深まり」の項目で「５」または「４」と回答する生徒９０％以上
２）共に生きる力を養います ～基本的生活習慣を身につけ集団の一員として規則やマナーを守り、相手の気持ちを考えて責任ある行動がとれる人材を育成します～ ～地域社会の一員としての意識づけを図ります～		①登校時の校門指導において、遅刻防止を呼びかけるとともに、身だしなみ確認及び挨拶の励行を促します。 ②社会のルールの意義を理解させるため、毅然とした態度での指導を心がけ、生徒の規範意識を醸成します。 ③生活アンケート（年３回）・教育相談週間及び全ての教育活動を通して生徒の声に耳を傾けて、生徒理解に努め、いじめのない学校を目指します。 ④学校行事に参加するよう呼びかけ、仲間と共に活動する喜びや、互いのよさを生かして協働する力を養います。 ⑤地域行事やボランティア活動に参加する機会を与え、地域社会の一員としての自覚をもたせ、地域社会人の育成に努めます。	① 授業評価アンケートで「礼、服装、私語など授業規律が守られている」の項目で「５」または「４」と回答する生徒８５％以上 ② 特別指導件数０件 ③ いじめの重大事態件数０件 ④ 地域行事またはボランティア活動に参加したことがある生徒７０％以上
３）自立する力を育てます ～１年生「自己理解」、２年生「自己啓発」、３年生「自己実現」という各学年の進路目標に従ってキャリア教育を推進し、自ら考える生徒を育成します～		①３年間を見通した進路指導計画に基づき、キャリア・パスポートを活用しながら、卒業後の進路希望に応じた進路指導を学年にあわせて行います。 ②地元企業や地元福祉施設等の協力のもと、２年生全員のインターンシップを実施し、望ましい勤労観や職業観を育成します。 ③郡上市雇用対策協議会と連携をとり、模擬面接や企業説明会等を実施し、高校卒業後、即戦力となる人材育成を行います。 ④進学希望者に学校見学会や進学ガイダンスを行い、明確な進学目的をもった生徒を育成します。	① ・各学年最終進路希望調査で希望未定者０ ・卒業時の進路未定者０ ② 就職者に占める地元就職率７０％以上 ③ 進学希望者の進学決定率１００％